

常総学院同窓会々報

発行 / 常総学院高等学校同窓会 編集 / 同窓会会報編集委員会
委員長 / 飯田晃久 印刷 / 有大鵬社



同窓会会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日ごろより本校の教育活動にご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。常総学院は、今年度で中学校が創立三十一年目、高等学校が創立三十四年目を迎えます。

昨年度の高校入学試験では、茨城県内で受験生が最も多い学校となりました。大学進学においては、医学部医学科十四名(通算百四十六名)、国公立大学・大학교百二十五名、GIMARCH百三十八名と、輝かしい実績が出ています。部活動においても、野球部の甲子園出場に始まり、吹奏楽部、バトミントン部、水泳部、パワーリフティング部等、全国に名を轟かせる部活動が数多く存在しています。母校の後輩たちの活躍を耳にすることは、卒業して何年たっても本当にうれしいと思うものです。今後も常総学院の名を全国に広めてほしいと思っています。

昭和六十一年に第一期生が卒業して以来、今年で全



常総学院高等学校同窓会
会長

飯田 晃久

卒業生が二万一千名を超えるに至りました。卒業生それが、社会のさまざまな分野で活躍していることは、きっと大きな力であり、喜びでもあります。常総学院高等学校同窓会が、こうした多くの卒業生、さらには在校生、保護者の皆様方とのさまざま交流の役割を担い、同窓生一人一人にとって、生涯にわたりなんらかのお役に立つ存在となれば幸いと考えています。

今年度も新入生への生徒手帳配布に始まり、関東大會以上に進出した部活動への補助、常友祭での出店などさまざまな活動を行ってきました。これからも母校の発展を祈り、応援していくたいと思っています。同窓生のみなさん、今後ともよろしくお願いいたします。在校生のみなさん、常総学院での生活は社会にてから皆さんも支えてくれます。常総学院の生徒であることを誇りに思いい夢に向かって邁進してください。応援しています。

活躍する 卒業生

常総学院中学校第八期、高等学校第二十四期卒業生の宇佐美亮祐です。現在は、宝島社という出版社で編集者として勤務して四年を迎えていました。

自分は宝島社で小説の編集や、「このミステリーがすごい!」といった年末のランディング本など、主にエンターテインメントに関連するジャンルで書籍を制作しています。宝島社は「sweet」「InRed」「smart」といったファッション誌を主に手がけている出版社で、付録付きの雑誌などを書店で目にされることがあると思います。

編集者とは、様々な仕事を担う職業です。企画を立案するために多様な興味関心をもち、著者やイラストレーター、デザイナーなど幅広い職種とつき合い、そのジャンルの専門家である著者に助言ができるだけの知識を備え、書籍を売るための読者の感覚を理解し、コーピーライティングをして、と業務は多岐に渡ります。小説がマンガ化、映画化された際には製作陣との調整や監修も行いますし、著者のマネージャーのような立場として、様々な場に立ち会います。このように、編集者として求められる能力も様々です。すべてをこなす必要は必ずしもなく、その中で自らの強みを見つけ、発揮していけばよいというのも、この仕事の面白さです。

近頃は『重版出来』というマンガ・ドラマなどもありましたし、編集という仕事に興味がある方も多いかもしません。編集は過酷な仕事ですが、非常にやりがいのある仕事です。自分が手がけた作品がたくさん的人々に読まれることには、何にも代えがたい喜びがあります。出版界は

決して樂觀視できる業界ではありませんが、エンターテイメントがなくなることはないと思つて、日々新しいものをつくりうとしています。社会が動かすことのできるコンテンツをつくることを、いつも目標にしています。

昨今は、コンテンツにお金を支払うという意識が低くなりつつあると思います。無料でも高いクオリティのコンテンツが手に入るのは素晴らしい環境ですから、いろいろな作品に触れてもらいたい思いますが、一方で違法なコンテンツのダウンロードや視聴が問題になっています。コンテンツの向こうにはそれぞれ作り手がいるということも、少し意識してもらえると嬉しく思います。

第二十四期生 金久保祐介

みなさん、こんにちは。常総学院中学校第八期生の金久保祐介です。今は千葉県の田舎で医者をしています。大した活躍はしていませんが、今この仕事について、主に現役生のみなさんに向けてご紹介します。

まず、今の私の立場についてです。世の医学生は六年にわたる大学生活の終わりに医師国家試験を受験します。これに合格すれば晴れて医師になれるわけですが、医師としての最初の二年間は初期研修医という立場で働くことになります。

私の場合ですと、具体的に一ヶ月ごとに各診療科（循環器内科、呼吸器内科、消化器外科、小児科、救急科……いくつ思いつきますか？）をローテーションして月ごとにその科の一員として修行を積むわけです。そのため、一ヶ月ごとに共に働くメンバーが変わります。慣れたころにまた次の部署へ異動となるのでなかなかストレスも多いですが、医療に関わる多くの人達と関係性を作つていくことも大事な能力、と思つて日々過ごしています。



さんは、後悔のないように学生生活を送つてもらいたいと思います。

ないと思いますので、より具体的な一日の過ごし方について説明します。例えば、とある内科研修での一日。朝起きて七時頃出勤、電子カルテを開き、昨晩入院患者さんに起きたイベントをチェック。看護記録を眺めます。一通りの情報を取り終わったら担当患者さんに会いに行きます。その後、診療科全体での会議があります。新しく入院になった患者さん情報を共有します。それが終われば各チーム（三人程度の医師がチームを組んで患者さんを担当します）に分かれて今日の方針を決定し、チームで回診をして、看護師さんに今日することを伝えたり、検査を依頼したり、内服薬や点滴を処方したりします。患者さんが熱を出したり嘔吐したりと何か問題が生じれば、看護師さんから電話で報告が来るのでその都度対応します。処方薬に飲み合わせの悪いものがあつたり不備があれば薬剤師さんから問い合わせ（疑義照会）が来ます。退院後の生を送るにあたって、食事・歩行・着替えなど基本的な日常動作がどちらい可能か、介助が必要か、リハビリスタッフと相談し、介護保険や種サービス調整が必要な患者さんがいれば、ソーシャルワーカーと働し、社会調整をします。合間合間に返事を書き、一方で退院の方があれば、かかりつけ医に退院報告をいたりとデスクワークも意外と多いです。週に一・二回夜間救急外であります。当番があり、そうでない日は（余があれば）勉強をして、一日が終ります。

どうでしたか。お医者さんのイメ

ージ通りでしたか。もちろんこれはあくまで内科研修医の一例で、専門性によって働き方は様々ですが、意外と実際の働きぶりを知るチャンスはないですよね。みなさんは自分なりたい仕事の実際を知っていますか。この寄稿が、みんなが将来の仕事について少し考えるきっかけになりましたら幸いです。



小さな力でも

社会福祉法人
武藏野ディセンター
ふれあい

第二十五期生 浮田 宣美

私は常総学院高等学校を卒業し、茨城県立医療大学に推薦入学しました。同校を卒業した後、上京し、幅広



私が支援しているのは、重度重複障がい者の方々です。みんなのほとんどが特別製の車いすを必要とします。そして、日常生活の全てにおいて、支援を必要とする方々です。ですが、全員が毎日、健常者と同じように、たくさんの感情を持ちながら、彼ららしく生活しています。

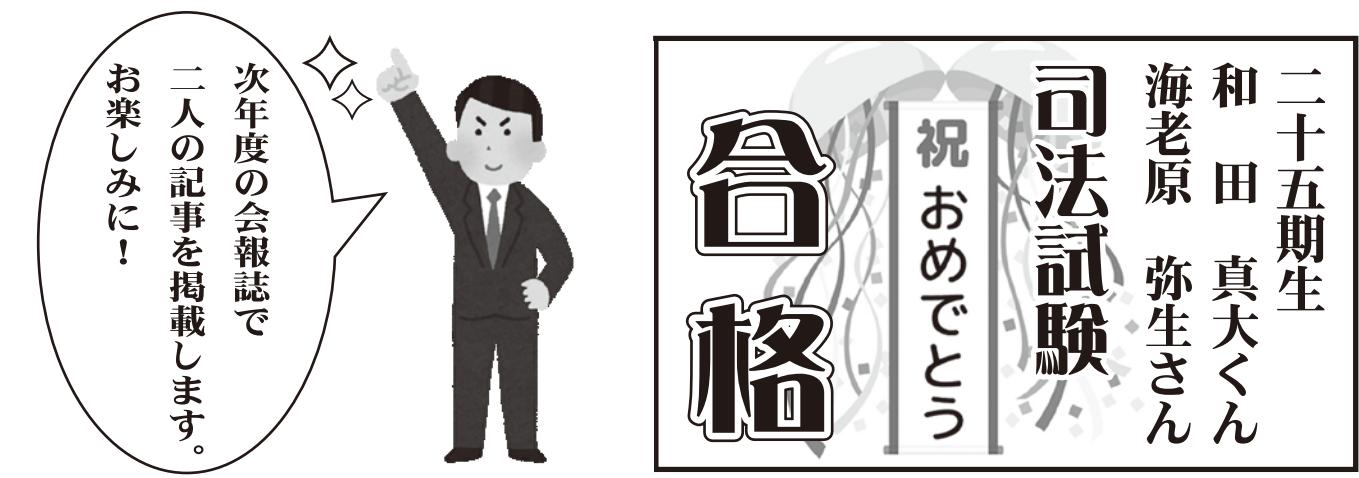
現在、私の職場で始まったことがあります。それは、どんなに重い障害をもっていても、障害に関係なく、社会の一員として、社会貢献をしていく取り組みです。これは、自分たちのできる小さなことをおこなうことでも、社会の一員であると認識してもらうことに意義があります。現在はコースターなど小物製品を作り、販売しています。このような活動は通称DCF活動と呼ばれ、私たちが最も力を入れている活動です。私たちにとつても挑戦の毎日ですが今後ともご利用者と共に歩んでいけるように、

次年度の会報誌で
二人の記事を掲載します。
お楽しみに！



和田 真大くん
海老原 弥生さん
司法試験
祝おめでとう

合 格



第98回 夏の甲子園 ベスト8!!

試合結果

1回戦

VS 近江(滋賀) 11-0

2回戦

VS 中京(岐阜) 8-3

3回戦

VS 履正社(大阪) 7-4

4回戦

VS 秀岳館(熊本) 1-4



甲子園を終えて 2年1組 中村 遼
この度の「第九十八回全国高等学校野球選手権において、野球部に対する多大なるご支援、ご声援ありがとうございました。
茨城県大会では、決勝戦の明秀日立高校に接戦で勝ち、三年ぶり十六度目の甲子園の切符を得ることができました。

近江戦は初戦ということもあり固さがありましたが、先制点を取り波に乗って快勝しました。中京戦では夏の大会初めての先制点を許してしまいましたが、エース鈴木が踏ん張り、打線も応え逆転しました。三回戦での優勝候補、履正社高校との試合ではチームが「勝つ集団」となり、打ち勝つことができました。三回戦の流れで秀岳館戦に望みましたが、甲子園という舞台は勢いで勝てるほど甘くはなかったです。

甲子園は自分を成長させてくれる場であり、二年半、共に闘った仲間との絆を発揮できる場でした。これからは次のステージに向けて頑張っていきたいと思います。

野球部





**選抜高等学校野球大会
応援団優秀賞**

野球だけでなく
応援も頑張つて
います!

春の応援団員を受賞し夏の甲子園での経験
我々応援指導部は、春の選抜高校野球
大会で「応援団優秀賞」を受賞しました。
その知らせを聞いた時は嬉しさは半
分でした。それは、「勝つたら野球部のお
かげ。負けたら我々の責任」という応援団
のモットーがあつたからです。我々の中
では、春の大会は自分たちが敗因である
という思いが強かつたのです。だから夏
の大会は春の大会よりも、もっと迫力の
あるより良い応援をすると我々応援指導
部一同は心に決め練習に励みました。

そして迎えた夏の県大会。我々は、春の
大会よりも良い応援ができ、野球部も見
事に決勝戦を勝利し三年ぶりに県大会優
勝を果たしました。春に続いて夏も甲子
園で応援できることになりました。甲子
園では、県大会以上に相手校を気迫で凌
駕する意気込みで野球部を全力でサポー
トしました。結果は三年ぶりのベスト8
でした。ようやく「応援団優秀賞」に恥じ
ない応援が出来たのかなと思えました。
春と夏、忘れられない経験をさせてくれ
た野球部に感謝申し上げます。

春の応援団員を受賞し夏の甲子園での経験
3年15組 藤野 和輝

応援指導部

部活動 報告

私たちチアリーディング部 SOLDIERS の
二年生は、今回ダンスドリル大会に出場さ
せていただきました。八人という少人数で
不利な中、先生や先輩のご指導によって全
国大会に出場することができました。

予選大会では、目指していたノーミスの
演技ができず悔しい思いもしましたが、審
査員枠で全国大会に進むことができ、この
チャンスを生かそうと、先生と先輩に恩返
しするためにいつそう練習に励みました。

努力する事の大切さ

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、指揮者である本岡
先生と一〇四名の部員で「才能より努
力」をモットーに日々活動しています。
今年、新体制にかわった当初は、演奏
面でもチームワーク面でもうまくいか
ず、頭を抱える毎日でした。しかし、どん
なに辛く苦しい時でも、誰一人として諦
めず、全員が自分の課題と向き合い努力
した結果、演奏面・チームワーク面でも
向上はもちろんのこと、人間的にも大きく
成長する事ができ、努力する事の大切さ
を学ぶ事ができました。努力の成果は結



たが、悔いはなく、先生や先輩に恩返しす
ることができたと思います。
これからも、笑顔と勇気を見ている人
に届けられるような演技をしていきた
いです。

果にも現れ、過去二年間突破する事ができなかつた東関東大会を突破し、悲願である全国大会に出場する事ができました。全国大会では思うような結果がでませんでしたが、先生と仲間と共に一生懸命努力した日々は一生忘れません。

最後になりますが、私達が何不自由なく生活をし、最後まで部活をやりぬく事ができたのも、すべては私達を応援し、支えて下さった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

活をし、最後まで部活をやりぬく事ができたのも、すべては私達を応援し、支えて下さった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

水泳部



「美しく咲け君の笑顔と努力の華」をテーマに、二〇一六年情熱疾走中国総体が七月二十六日から八月二十四日まで開催されました。開催に当たっては、大会に出場する私達はもとより、企画・準備・運営に関わる高校生が目

男子バトミントン部



最後の夏 3年3組 中島 健吾

女子バトミントン部



インターハイに出場して

3年5組 森 咲和佳

駄
伝
部



最後に、お世話になつた先生方や関係者の
方々には大変感謝しております。

「全国」レベルの速さ」を経験して
一五〇〇Mと三〇〇〇Mの二種目に出現した関東高校陸上競技大会。全国大会でも活躍する選手と同じスタートラインに

標に向かって取り組み、輝く大会を目指して
きたそうです。インターハイは全ての高校生

が難しく、今年こそはベスト8以上の結果を残すことを目標に日々練習してきました。

夏休み中の練習では、OBや大学生の方々にたくさん相手をしていただいたり、朝一番の試合を想定して朝の早い時間から練習し

バドミントンといえば窓を閉め暗幕をひき暑い体育館の中でプレーすると思われがちですが、今年はエアコンが完備され、とても涼しい環境で試合が行われました。団体戦も個人戦シングルスも優勝するつもりで臨みましたが、団体戦は地元の岡山県の高校に接戦するも二回戦で敗退してしまいました。

で出場しましたが負けてしまい、練習チームの役に立てず、チームも負けてしまいまして。結果は一回戦敗退という悔いの残る結果でした。私はキャプテンとして一年間チームを引っ張ってきて、上手くいかないこともありますでしたがとてもいい経験をさせていただきましたと思っています。この高校三年間の部活動に打ち込んできた日々を決して無駄にしないようにしていきたいです。

気を取り直して臨んだシングルスでは毎試合、ファイナルゲームで勝利し、気がつけば五試合を消化していました。意識は朦朧として、全身が痙攣を起こし体力の限界でしたが、自分の目標の為に頑張りました。試合が終わつた瞬間、場内から拍手をいただき最終的には全国ベスト8という実績を残すことができました。これに満足せず精進していくたいと思います。



立ち、緊張のスタート。三〇〇〇Mは一周目六十八秒。「さすが速い!」ただ必死に走ったというのが本音でした。また一五〇〇Mは、あと一人抜けば決勝に進出という〇・一秒の重みを感じた大会でした。

中学までバスケットボール部に所属していた私は、陸上競技は高校から始めました。一年目から少しずつ力をつけて、二年目の県高校総体で二五〇〇Mが二位、三〇〇Mは三位になり関東大会への切符を手に入れることができました。高いレベルのレース経験の少なかつた私が全国クラブ選手も走るこの大会に出場したことには、新たな競技への意識改革となり、より高い意識で練習することができました。その結果、関東大会後の県高校学年別大会三〇〇Mでは優勝することができます。

昨年、駅伝部(女子)は県高校駅伝大会で三位になり、チームとして二十回目となる関東駅伝大会に出場することができます。トランク種目、駅伝とともに関東大会が全国大会への通過点となれるように、更に上を目指して頑張っていきます。



今後に向けて 2年3組 小齊 綾乃 剣道部

私たち剣道部は、顧問の宮田先生ご指導のもと男子七名、女子十一名、計二十八名で日々練習に励んでいます。

県大会では、私たちの取り柄である「粘り強さ」が結果に繋がり、目標だった関東大会に出場することができました。先輩方が繋いできた連続出場をきらせることはできないプレッシャーの中、たくさんの方に壁にぶつかりながらも仲間と支え合いながら乗り越えてきたからこそ掴んだものだと思います。しかしそれだけで満足してしまい、関東大会、そしてインターハイ予選では、内容のよい試合をすることができませんでした。同じ失敗を繰り返さないためにもこの悔しさを忘ることなく、最後に本数一本で勝てるチームになれるよう頑張りたいと思います。

来年の関東大会は、地元の茨城県での開催なので、男女共に出場できるように一日一日が勝負だと思って練習していくと思います。



男子ソフトボール部は、三年生七人、二年生十二人、一年生四人の計二十三人で活動しています。平日の練習では、各自が目標や課題を持って自主練習を行い、休日の練習では、バッティングやノック、試合形式の実践練習などチームとしての練習を主体に、日々汗を流しています。そして厳しい県予選を勝ち抜き、平成二十八年六月四日、五日にかけて行われた第42回関東高等学校男子ソフトボール大会に、下妻第二高等学校と対戦しました。当時悪天候により私たちは普段通りの力を出すことができず、結果は一対七で敗戦してしまいました。私たちはこの大会の経験を生かして、どんな状況にも振りまわされないメンタルを持ち、日々練習を重ねインターハイ出場を目指します。

関東大会 2年8組 高田 るな (女子マネージャー)



パワーリフティング部

全日本大会を終えて 3年6組 来栖 彩

大会を終えて一番印象に残っているのは、女子団体戦で初優勝を果たしたことです。今まで女子の部員が少なかったので、人数の面で他校に負けている部分がありました。しかし、今年は女子の部員が三人増え、さらに出場した四人のうち、個人戦で三名が優勝、一名が準優勝し、念願の団体戦優勝を勝ちとることができます。

また、部全体の目標である「個人上位入賞」を、多くの部員が果たすことができ、さらに一名が日本記録の更新、一名が高校記録の更新をしたことも印象に残っています。これは選手一人一人の「力」以上に、選手のサポートをしてくれた一年生、そしてO.B.、顧問の先生方のおかげだと思います。

今後の目標として、次の新人戦では、部員全員が全国大会につなげられるよう結果を残し、男子・女子ともに団体戦優勝を目指していきたいと思います。

競技かるた部
競技かるた部は、部としての歴史
は浅く、発展途上です。しかし、日々の
練習や、大会への出場、大学生、高校生
との練習試合を通して着実に力を付
けてきました。今後は、総文祭や関東
大会への出場を目指して頑張ってい
たいです。

競技かるた部は、六渡先生、
岡崎先生のご指導のもと日々練習に
励んでいます。
今年度は八月に広島県で行われた
第四十回全国高等学校総合文化祭小
倉百人一首かるた部門・競技の部に
茨城県代表として出場しました。全
国大会という大きな舞台に、茨城県
代表として誇りと责任感を持ち、一
つ一つの試合を戦いました。競技か
るたはコンマ一秒の駆け引きによっ
て勝敗が決まります。各都道府県代
表の選手たちとの戦いでは、緊張し
ながらも勝ち星を挙げることができ、
全国ベスト16という結果を残す
ことができました。

競技かるた部は、部としての歴史
は浅く、発展途上です。しかし、日々の
練習や、大会への出場、大学生、高校生
との練習試合を通して着実に力を付
けてきました。今後は、総文祭や関東
大会への出場を目指して頑張ってい
たいです。

私達の競技かるた部は、六渡先生、
岡崎先生のご指導のもと日々練習に
励んでいます。

総文祭に参加して

3年9組 藤原 美穂

茨城県代表 6名出場

関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会 総文化祭ベスト16



全国高等学校 競技かるた部

常総学院 ラジオ こちら常総学院です！

常総学院高等学校

生徒会長 市川 雄大

今年から常総学院でラジオ放送が
始まりました。

ことの発端は、私が夏休みの課題
であつた職業レポートの参考にする
ために、放送局『ラヂオつくば』にイ
ンタビューに行つたことです。取材
後に局長の方から『高校生が一から
作るラジオ番組』のお話があり、やら
せていただきたいと返事をしてこの
企画は始まりました。

その後、数ヶ月間の打ち合わせを行
い、今年の六月から常総学院の生
徒が作るラジオ『こちら常総学院で
す！』が始まりました。

常総学院の生徒が、日頃思つたこと
や感じたことを語り合つていくとい
うテーマで、学校行事や部活動などに
ついて放送しています。リスナーの皆
さんに面白い放送をお届けできるよ
うに、生徒会一同、精一杯努力してい
きますので、是非お聞きください。

常総学院ラジオ
隔週月曜日
19:00 ~ 19:15

是非聞いてください！





準優勝【小池 由華】

■ 剣道部

春季県南剣道大会		関東高等学校剣道大会	
男子団体 個人の部	準優勝 ※関東大会出場	男子団体 個人の部	準優勝 ※関東大会出場
県南地区高等学校陸上競技大会	第63回関東高等学校剣道大会	個人の部	個人の部
男子800m	ベスト8【中澤 亞美】	男子800m	3位【中澤 亞美】
女子800m	※関東大会出場	女子800m	3位【山口 咲希】
男子1500m	6位【成毛 菜奈】	男子1500m	2位【松崎 菜摘】
女子1500m	6位【石川 拓哉】	女子1500m	3位【今井 咲希】
女子1500m	優勝【小林 愛奈】	女子1500m	個人の部
女子1500m	2位【中根 美咲】	女子1500m	個人の部
女子1500m	7位【大島きらら】	女子1500m	個人の部
男子5000m	4位【新妻 悠】	男子5000m	個人の部
男子5000m	5位【石川 拓哉】	男子5000m	個人の部
女子3000mSC	優勝【小林 愛奈】	女子3000m	個人の部
女子3000m	2位【上井 里彩】	女子3000m	個人の部
女子3000m	3位【大島きらら】	女子3000m	個人の部
男子3000mSC	4位【平方 祐記】	女子3000m	個人の部
男子3000mSC	7位【新妻 悠】	女子3000m	個人の部
男子3000mSC	8位【見野 一太郎】	女子3000m	個人の部
女子1500m	2位【小林 愛奈】	女子3000m	個人の部
女子3000m	3位【小林 愛奈】	女子3000m	個人の部
県民総体・国体予選会兼 第89回関東選手権大会予選会	第69回北関東高等学校陸上競技対校選手権大会	県民総体・国体予選会兼 第70回茨城県陸上競技選手権大会	県民総体・国体予選会兼 第45回茨城県高等学校陸上競技学年別選手権大会
女子5000m	8位入賞【上井 里彩】	女子5000m	女子5000m
女子5000m	7位入賞【小林 愛奈】	女子5000m	7位入賞【小林 愛奈】
女子5000m	※2名とも関東陸上競技選手権大会出場	女子5000m	高校男子3000mSC4位【新妻 悠】
女子5000m	7位入賞【小林 愛奈】	女子5000m	高校女子3000m優勝【小林 愛奈】
女子5000m	※2名とも関東陸上競技選手権大会出場	女子5000m	女子5000m
女子5000m	7位入賞【上井 里彩】	女子5000m	女子5000m
女子5000m	7位入賞【小林 愛奈】	女子5000m	女子5000m
女子5000m	※2名とも関東陸上競技選手権大会出場	女子5000m	女子5000m
女子5000m	7位入賞【小林 愛奈】	女子5000m	女子5000m

水泳部

進路指導室より活動報告

過去5年間の大学入試合格実績… (今年度の現役進学率・・・88.9%)

今春の四年制大学の進学状況は、東京医科歯科大学を含む医学部医学科14名(国立2名を含む)、国公立125名、GTMARCH 138名を始めとし、四年制大学総合格数957名、現役進学率 88.9%を出すことができました。これもひとえに、卒業生の皆さんのが3年間、6年間の努力の結晶であると思います。

ご卒業の皆様方の益々のご活躍をお祈り致します。

国公立大学…557名(今年度125名)
医学部医学科…57名(今年度14名)
GT-MARCH…701名(今年度138名)

合格体験談集『桜咲く常総in2016』を発行

平成28年7月1日、今年も合格体験談集を発行致しました。本校中学高校の在校生及び、掲載されました卒業生の方々へ配布致しました。

平成28年 進路講演会

	題 目	講 師
1月	一小論文講座ー基礎から国公立大二次試験まで	(株)学研アソシエ学力開発事業部 小論文添削室 尾川直子先生
2月	一税金の仕組みー消費税10%へアップを考える	水戸税務署 税務広報官 安見隆二氏
5月	推薦・AO入試に向けての面接対策	ソーシャルデザイニング研究所 高橋健太郎先生
5月	大学入試小論文の書き方	大手予備校講師 小多悠先生
6月	最先端技術誕生に携わって(研究・開発による社会貢献)	東北大学教授 小林広明先生

	題 目	講 師
7月	青山学院大学・中央大学・法政大学 合同説明会	(各大学入試担当者)
9月	「医学・薬学・看護・医学検査志す人たちへ」 国際的に活躍する医師を目指す 緩和医療における薬学の貢献 国際保健医療協力の現状および貧困と健康 縁の下の力持ち? 医療を支える臨床検査	国際医療福祉大学 教授 吉田素文先生 講師 宮川和也先生 教授 小川正子先生 講師 池田勝秀先生
10月	医学を志す人たちへ ~医師はどうやって病気を診断するのか?~	筑波大学医学医療系 地域医療教育学 教授 前野哲博先生
11月	ホスピタリティのプロになるということ	グランドハイアット東京 ヘッドコンシェルジュ 明海大学 教授 阿部佳先生
1月	いのちの学習会 ~日本や海外における臓器移植の現状から 生命倫理を学ぶ~	筑波大学医学医療系 消化器外科・腎臓移植外科 高橋一広先生



● 合格体験談集 ●



前 鈴木先生、左から栗山先生、伊藤課長、菅谷室長、
後列猪鼻先生、中久喜先生、原田先生、青柳先生、
左から藤原先生、荒井先生、
右から青柳先生、

■ 進路指導部の先生方 ■

第19回 げんでん科学技術振興奨励賞

受 賞



「大事な卵の包み方」 科学チーム 2年生



(理科教諭 松島 敦記)



昨年度、げんでんふれあい茨城財団が主催する「げんでん科学技術振興事業」の研究助成として、中学校の科学研究チームの研究『大事な卵の包み方』が採択されました。そして今年度、助成を受けた県内各校の中で優れた研究に贈られる「げんでん科学技術振興奨励賞」に選ばれました。そこで今年度、助成を受けた県内各校の中でも優れた研究に贈られる「げんでん科学技術振興奨励賞」に選ばれました。本校生徒の受賞は、高校の科学部六名が二年前に大賞を受賞して以来であります。校では初めてとなります。

本研究は、生卵を包むプロテクターを用紙だけでつくり、校舎三階から落としても生卵を保護出来るプロテクターとして、どのような形状が理想的かを考察するというものです。研究に参加した中学二年生十三名は、昨秋から的一年間、放課後のわざかな時間を利用してコツコツと研究を積み重ねてきました。

十二月二日に茨城県庁で行われた表彰式には、メンバーを代表して石渡克哉くん・中辻健杜くん・大野健登くんの三名が出席し、堂々とした態度で大賞を果たしました。

在校生だより
《中学校》

僕らの挑戦

三年 一組 石渡 克哉

僕たちは「エッグドロップ」の研究をして、奨励賞をいたたくことができました。

「エッグドロップ」とは、約1メートルの

高さから卵を落としても割れないように、卵のプロテクターを作る競技です。

僕たちは、去年から十三人で研究をしてきました。途中で、卵を割つてしまったり、筆記試験で通過できなかったりしました。

けれども、仲間たちと協力し、力を合わせて、研究を続けました。その結果、奨励賞を受賞することが出来たのは、とてもうれしかったです。僕達を指導してくれた松島先生、熊田先生、一緒に研究をしてくれた仲間たちには、とても感謝をしています。

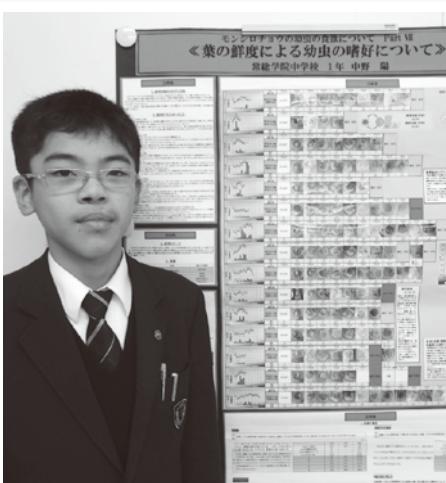
また、このような研究をする機会があ

れば、今回の経験を生かして、良い結果を残せるようにがんばりたいです。



自由研究『葉の鮮度による幼虫の嗜好について

《モンシロチョウの幼虫の食欲についてpartVI》



僕は、小学校一年生の頃からこの研究を始め、今年度で七回目となりました。この研究を開始したきっかけは、小学校一年生の時に、自宅にいたモンシロチョウの幼虫の食欲に驚いたことです。今年度は、モンシロチョウの幼虫にキャベツの内側の葉、または外側の葉を与えて続けた場合、幼虫の成長にどのような影響があるのか調べました。その結果、外側の葉を与えて続けた場合、うまく成長しない幼虫が多く発生しました。夏休み中に、それらをまとめて科学研究作品展に出品し、県展でげんでん財團科学賞をいただけたことはとても嬉しく思っています。来年度は成長がうまくいかなかつた原因を探つていきたいと思います。

平成28年度 体育祭 今年は10年ぶりに 紅白対抗！！



紅組団長 3年4組 松尾 凌汰
明け方まで雨が降り延期になると
思いましたが、雨がやみ天気まで私
達の味方をしてくれたような体育祭
になりました。去年まではクラス対
抗でしたが、今年は紅白にわかれ
て、私は紅組の團長をしました。結
果は、紅組優勝!!みんなが団結し、頑
張った結果でした。思い出に残る、す
ばらしい体育祭となりました。

白組団長 3年3組 野島 桜
私たち3年生は、最後の体育祭で
した。今年はクラス対抗ではなく、紅
白対抗で勝負しました。
私は、白組応援團長を務めさせて
いただきました。初めの入場行進で
は、練習の時よりも大きな声が出て
いたと思います。前半戦は白組が負
けていましたが、私の最大の思い出
でもある後半戦では、各学年の団体
競技、紅白対抗リレーと白組が勝ち、
覚醒したかのような追い上げでし
た。結果は負けてしまいましたが、体
育祭にかける思いは白組が勝つてい
たと思います。

1年1組 岡崎 麻紗
私が、国内留学で学んだことは2
つあります。一つ目は、言葉で伝えら
れなくても「伝えたい」と思えば、片
ジエスチャーなどで表現することで
も伝わることです。二つ目は、
言葉が伝わることがどれだけ幸せか
ということです。今まで学習してき
た英語を使って会話をすることがで
きたと思うと、嬉しさや、これからも
英語をどんどん学んでいこうという
気持ちが湧き出できました。

1年2組 坂入 美光
国内留学で学んだことは言葉が伝
わる喜びです。ジエスチャーを使い、片
言でしたが、今まで習った英単語を組
み合わせて瞬時に文をつくり、上手に
言えるように考え、チームチャレンジ
という企画では、友達と英語を使って
コミュニケーションがとれ優勝しまし
た。また、夕食でもよそってほしいもの
を英語で伝えたり、外国の講師先生に
聞かれたことをきちんと伝えられるよ
うに心がけました。充実した英会話の
経験をすることができたと思います。

紅組団長 3年4組 松尾 凌汰
明け方まで雨が降り延期になると
思いましたが、雨がやみ天気まで私
達の味方をしてくれたような体育祭
になりました。去年まではクラス対
抗でしたが、今年は紅白にわかれ
て、私は紅組の團長をしました。結
果は、紅組優勝!!みんなが団結し、頑
張った結果でした。思い出に残る、す
ばらしい体育祭となりました。

白組団長 3年3組 野島 桜
私たち3年生は、最後の体育祭で
した。今年はクラス対抗ではなく、紅
白対抗で勝負しました。
私は、白組応援團長を務めさせて
いただきました。初めの入場行進で
は、練習の時よりも大きな声が出て
いたと思います。前半戦は白組が負
けていましたが、私の最大の思い出
でもある後半戦では、各学年の団体
競技、紅白対抗リレーと白組が勝ち、
覚醒したかのような追い上げでし
た。結果は負けてしまいましたが、体
育祭にかける思いは白組が勝つてい
たと思います。

国内留学を終えて

**広がる
コミュニケーション**

真夏の京都奈良

2年1組 田邊 水香

私は、四つのコースがある中で足利コースを選び、主に室町時代が背景となつたお寺を巡りました。私は八月の最も暑い時期に京都・奈良を訪れ、あの猛暑には衝撃を受けましたが、それ以上に初めて目にする古都のお寺の迫力、威厳には惹かれるものがありました。また、あまり馴染みのない関西の人々も交流ができ、出会いの大切さを改めて知ったような気がします。今回の国内研修を通して今まで知らなかつた新たな日本を知ることができ、良い思い出になりました。



国内研修について

2年2組 木村 和真

僕は、今回の国内研修でたくさん歴史について学べました。僕達は、国内研修の前に事前指導を受け、京都・奈良について学習していました。そして、現地では、タクシーの運転手の方に一つ一つ細かくご指導いただきました。特に、印象だったのが三十三間堂で、千手観音像が一〇〇一体もあり、とても驚きました。宿泊した宿もきれいで食事もおいしく素晴らしかつたです。部屋の人達と遊んだのも大事な思い出です。来年は海外なのでしつかり英語を学んでおきたいです。



3年生海外研修

3年1組 久松 萌々香

私は今回の海外研修で、学校や塾の授業とはまた違う英語の楽しさを実感しました。最初は自分の言いたいことが伝わらず、とてももどかしい思いをしました。しかし、表現を変えたり、ジェスチャーをしたりと色々な工夫をした結果、ホストファミリーには冗談を言われる程に打ち解け、学校訪問の時にできた友人とは文通することになりました。

私の将来の夢は英語を生かした職につくことです。今回の海外研修では、将来の夢に繋がる経験ができたと思います。



3年3組 水野 貴耀
ぼくは、ニュージーランドにい
る間、常にマオリ文化を感じて過
ごしました。

学校訪問では、マオリの歓迎の儀式に代表で参加し、その厳かさに感動しました。また、訪れる所では必ずマオリに由来する名があり、マオリ語が自然に耳に入りました。ハカダンスや統工芸を守るだけではなく、ごく普通に地場の文化が存在する姿は素晴らしいと思います。これまでの経験は、これからぼくの生き方に影響を与える大切な思い出になりました。



生まれ変わったトイレ

七月下旬より行つてきました中学校校舎のトイレ改修工事が、無事終了しました。開校した二十一年前はまだ和式トイレが主流でしたが、生活様式の変化に伴い、洋式トイレの需要が高まつてきました。そこで、夏休み期間を利用して全面改修を実施しました。

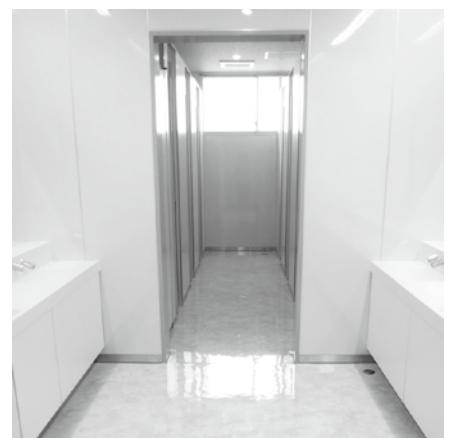
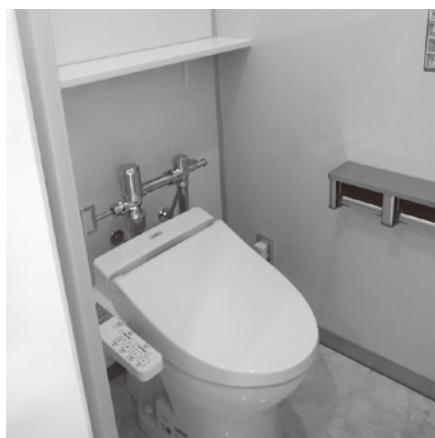
今後は、高校校舎および体育館内のトイレの改修工事も順次行つていく予定でいます。綺麗なトイレを楽しみにしていて下さい。

3年1組 大久保 雄哉

改装されたトイレの変わり様に、僕は衝撃を受けました。殺風景だった今までのトイレと打つて変わり、まるでホテルのトイレにいるかのような華やかな雰囲気になっていたからです。床や壁は清潔感のあるデザインになり、トイレは全て洋式になりました。また、お手洗い場は蛇口からセンサー一式に変わり、利用しやすくなりました。

これらは全て工事をして下さった方々、並びに先生方のおかげです。僕は環境委員長として、清潔に保てるように努めたいと思います。

中学校トイレ



■平成27年度 常総学院高等学校同窓会決算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日まで)

▼収入の部					(単位:円)
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考	
1.会 費	9,960,000	8,255,000	△1,705,000		
卒業生会費	780,000	1,030,000	250,000	終身会費29名、会員51名	
在校生会費	9,180,000	7,225,000	1,955,000	終身会費83名、会員515名	
2.雑 収 入	12,000	11,427	△573	受取利息	
3.前年度繰越金	61,882,163	61,882,163	0		
収入の部計	71,854,163	70,148,590	1,705,573		

▼支出の部					(単位:円)
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考	
1.消耗品費	100,000	74,182	△25,818	事務用品等	
2.通信運搬費	800,000	797,301	△2,699	会報送料	
3.印刷製本費	1,700,000	1,589,636	△110,364	会報印刷代等	
4.会議費	200,000	171,524	△28,476	役員会時飲み物代等	
5.旅費交通費	300,000	258,800	△41,200	役員会時旅費	
6.部活動補助費	3,500,000	3,440,000	△60,000	男女バドミントン部 硬式野球部等	
7.記念品費	750,000	743,220	△6,780	コサージュ、生徒手帳	
8.広報費	110,000	0	△110,000	新聞広告料	
9.行事費	400,000	842,489	447,489	常友祭テント代等	
10.雑費	200,000	168,980	△31,020	振込手数料等	
11.次年度繰越金	63,794,163	62,057,458	1,736,705		
支出の部計	71,854,163	70,148,590	1,705,573		

上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明致します。

平成28年5月7日 会計監査 久保田 美幸 前川 信史

平成27年度決算について

1. 収入の部
当初の予算額より卒業生終身会費の納入が増えた為、会費収入が増となりました。
2. 支出の部
女子バレー部・男子バドミントン部・女子バドミントン部・ソフトボール部・ラグビー部・女子剣道部・駅伝部・水泳部・パワーリフティング部(世界大会出場)・写真部・チアリーディング部・硬式野球部及び第88回選抜高等学校野球大会出場補助・吹奏楽部定期演奏会補助・卒業生・新入生への記念品等の事業活動を行いました。その他、支出は極力経費の節減に努めました。

■平成28年度 常総学院高等学校同窓会予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日まで)

▼収入の部					(単位:円)
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1.会 費	8,100,000	9,960,000	△1,860,000		
卒業生会費	780,000	780,000	0	終身会費20名、会員60名	
在校生会費	7,320,000	9,180,000	△1,860,000	終身会費90名、会員507名	
2.雑 収 入	12,000	12,000	0	受取利息	
3.前年度繰越金	62,057,458	61,882,163	175,295		
収入の部計	70,169,458	71,854,163	△1,684,705		

▼支出の部					(単位:円)
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1.消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品等	
2.通信運搬費	800,000	800,000	0	会報送料	
3.印刷製本費	1,700,000	1,700,000	0	会報印刷代等	
4.会議費	200,000	200,000	0	役員会時飲み物代等	
5.旅費交通費	300,000	300,000	0	役員会時旅費	
6.部活動補助費	3,500,000	3,500,000	0	硬式野球部 男女バドミントン部等	
7.記念品費	750,000	750,000	0	コサージュ、生徒手帳	
8.広報費	110,000	110,000	0	新聞広告料	
9.行事費	400,000	400,000	0	常友祭テント代等	
10.雑費	200,000	200,000	0	振込手数料等	
11.次年度繰越金	62,109,458	63,794,163	△1,684,705		
支出の部計	70,169,458	71,854,163	△1,684,705		

※項目間の彼此流用することができる。

平成28年度予算について

平成28年度予算は、平成28年度の事業計画と平成27年度の収支実績を勘案して編成いたしました。

1. 収入の部
卒業生の入会金、会員507名、会員年会費90名を収納予定として計上いたしました。
2. 支出の部
本年度の事業計画は、①第16号同窓会会報の発行②会員への同窓会会報郵送③各部活動への補助④卒業生・新入学生への記念品が主なものである。
これに基づき予算を編成いたしました。

平成28年度常総学院高等学校同窓会 会務分担表

担 当	本 部 役 員	学 校	主 な 業 務	担 当	本 部 役 員	学 校	主 な 業 務		
総 务	副会長 泉 琢磨 副会長 坂田 英一	岡田 慎一郎 林 克俊 切替 隆喜 中原 優 山田 慶 中根 弘貴	飯塚 康弘 仲野谷 宗治 櫻井 兼史	会議の招集・設営・進行 同窓会の統括的業務	事務局	副会長 伊沢 勝徳 副会長 入江 道雄	酒井 修 平井 翔智 神野 拓也 上原 崇里 根岸 明子 小倉 佳子 田村 江梨佳 乙高 優人 永井 泰仁 妹藤 美代子 野間口 喜洋 島坂 仁昭 荒川 南	青柳 隆雄 片山 章 布施谷 正人	事務局と相互連携
経 理	副会長 伊藤 哲也	内田 悠佑 塙本 勝則 櫻井 勝 猪瀬 高美 平澤 雅義	磯部 和弘 大海 聖賀	予算編成と執行・決算 諸会費等の徴収	監 事	久保田 美幸	前川 信史	本会会計の監査	
会 報	副会長 山口 大式	渡辺 裕次 伊藤 俊太郎 鈴木 由美子 津村 大 米山 真也 倉持 亜季子 岩井 大輝 内田 大樹 渡辺 真弓 高野 萌香 金子 佑太郎 堀切 風花 片岡 唯 横川 みなみ 邊春 祥宏	田中 光恵 牧野 絵美 谷川 義宜 祐源 愛 松林 康徳 横瀬 まり 神矢 千姫 相澤 理沙 篠塚 悠里 芽場 千晶 荒木 彩花 浮田 成美 西牧 奈緒	会報の編集・発行	同窓会事務局より	常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ	同窓会事務局より電話勧誘にご注意	同窓会事務局あいは常総学院事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘、確認調査等を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせ下さい。同窓会事務局が調査を行う場合は、同窓会長や学校長の名前が入った郵便で行います。	

同窓会事務局より

常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ

日時 平成29年5月28日(日)午前10時から

場所 常総学院高等学校 視聴覚教室

会員皆様の多数の御出席をお待ちしております。

悪質な電話勧誘にご注意

同窓会事務局あいは常総学院事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘、確認調査等を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせ下さい。同窓会事務局が調査を行う場合は、同窓会長や学校長の名前が入った郵便で行います。

会報への寄稿をお願い致します。

会員皆様より会報への寄稿をお願い致します。特に、同窓会、クラス会開催等、卒業生の活躍に関する情報をお寄せ下さい。詳細は同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

常総学院高等学校

平成29年度 入学試験

特進選抜αコース
特進β(β6・β7)コース推薦(単願)
1月9日(月) 英数国(記述)・面接
一般(単願・併願)
1月17日(火) 英数国理社(記述)
併願型推薦(千葉県受験者)
1月17日(火) 英数国理社(記述)

◇お問い合わせ◇ TEL:029-842-8771(代)
(入試広報部) ☎300-0849 茨城県土浦市中村西根1010番地
URL <https://www.joso.ac.jp/>

常総学院で夢を叶えよう
夢に向かってがんばる
みんなを全力で応援します

その1 英語教育
●英会話の授業は外國人教員による少人数指導(1クラス3分割授業)
●英会話の授業を週5時間実施(平日毎日)、これにより英語の授業時間が週11時間に
●ユーチューブ海外研修など、多彩な英語行事を実施

その2 グローバル人材の育成
●1分間スピーチやクラスディスカッションなどを通じて、論理的思考能力とプレゼン能力を育成

その3 キャリアガイダンス(コース制)
●デジタルコース(医学系)からラーニングコース(文理系)のいずれかに所属してコース別に
課外活動を実施することで、進路に対する意識を育て、専門職として貢献できる人材を育成

中高一貫教育
JOSO GAKUIN
常総学院中学校
TEL:029-842-0708(代表)
詳しくは、ホームページにてご確認ください。
常総学院
<https://www.joso.ac.jp/>

常総学院中学校

〒300-0849 茨城県土浦市中村西根1010 TEL:029-842-0708(代表)



教育関係の卒業生の方々、積極的にご入会ください



『常総学院教育学会』が発足!

平成28年10月2日(日)、土浦市内の「ホテル明建」で、「常総学院教育学会」設立総会が開かれました。当日は、保育園・幼稚園・小中高・学習塾から大学までの教職員70名を超える参加者で会場はいっぱいとなりました。櫻井理事長・玉井校長・飯田同窓会長(1期)から祝辞をいただき、会則・方針・役員なども決定し、初代会長には青柳隆雄氏(11期)が選ばれました。議事終了後、懇親会へと移り、各会員の自己紹介では、勤務先は違えども熱き常総魂を忘れずに教育にまい進する姿が生き生きと語られ、卒業以来の恩師との再会に満面笑顔の会員の姿もありました。今後は、年一回の総会を始め、教育に関する講演会や発表会、吹奏楽部の演奏会の観察など様々な行事を考えています。

役職	氏名	役職	氏名
最高顧問	櫻井富夫	会長	青柳隆雄(11期)
顧問	玉井尚良	副会長	祐源愛(19期)
顧問	飯田晃久	副会長	西牧奈緒(26期)
監査	入江道雄	事務局長	小松崎栄治

今後、総会にて更に役員を決めていきたいと思います。

■ご入会のお問い合わせ先: joso_edu@joso.ac.jp

さて、皆様のお力添えにより、今年も無事同窓会会報第十六号を発行することができました。在校生の活躍はもちらんのこと、社会で活躍する卒業生の皆様の力をお借りして数多く紹介することで、同窓会会報が会員皆様の日々の活動になればと考えております。「卒業生からの便り」等にご協力をいただける方を、編集部ではいつでも大募集しております。より内容の充実した会報を目指していくたいと考えておりますので、お力を賜れる方は学校へご連絡ください。

今後とも、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

卒業生の皆様方のますますのご活躍をお祈りいたしております。

同窓会会報 相澤理沙
編集委員一同

卒業すると母校の様子を知る機会は少なくなるもので、街中で制服を見かけたり、新聞記事に名前を見つけたりしたときに、懐かしさを覚えるのではないかでしょうか。

編集後記